

平成27年5月20日

調布水辺の楽校 様
ちょうふ環境市民会議 様

調布市環境部長 柏原 公毅
(公印省略)

「多摩川ワンド再生についての要望書」について(回答)

日頃から、調布市の環境行政に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

さて、平成27年4月1日付けで提出いただきました標記要望書につきまして、各項目ごとに下記のとおり回答いたします。

記

1 市民の環境教育に役立つ場所となるような検討について

ワンドは、河川に生物多様性をもたらす要素のひとつであることや多様な生物の観察ができる場として、環境教育・学習において重要な場所であると認識しています。一方、人工的に造られたワンドについては、降雨時の河川水位の上昇などの影響により、当初の形態が保てず安全上の課題が起きてしまう場合もあります。

このことから、本ワンドについては、あり方・維持管理・環境への活用方法等を含め皆様の御意見をいただきながら検討を進めて参ります。

2 モニュメント修復及び散策路整備について

現在のモニユメントは、平成12年に「生きものにやさしい川づくり」をタイトルとして、当時の河川工事を説明等したもので、建設省（現国土交通省）と話し合い、調布市が設置した経過があり、劣化状況も確認しているところです。

また、散策路の樹木等の剪定については、できるだけ自然のまま残すことが原則と考えていますが、一方で、安全上の配慮が必要であると認識しています。

以上の点を踏まえて、散策路などについて、河川管理者である国土交通省と協議して参ります。

3 ワンド活用や保全等についての環境保全団体等との意見交換について

現況のワンドは、今後活用や維持管理を行わなければ、いずれ形状を保てなくなることが想定されます。

御指摘のように、長期的にワンドの形状を保つためには、市と市民の共通認識をもって活用・保全等を図る必要があると考えます。第1項の回答でもお答えしていますが、あり方・維持管理・環境への活用方法等を含め、皆様の御意見をいただきながら検討を進めて参ります。

調布市環境部環境政策課環境保全係 田辺

〒182-8511 調布市小島町2-35-1

電 話 042-481-7086（直通）

F A X 042-481-7550

メール kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp